

高度人材育成博士フェローシップ
ガイド

東京工業大学

2023 年版

本資料の目的

本資料は、東京工業大学高度人材育成博士フェローシップに採択された学生に対して、学生の義務やフェローシップ支給についてのガイダンスをまとめたものです。

初版作成 2021年6月

改訂 2021年9月,11月,2022年8月,12月,2023年6月

1. フェローシップ制度の目的

このフェローシップ制度は、本学が世界の研究を主導するための戦略分野のひとつとして設定した Cyber Physical & Social Systems の概念に基づいて、スマート社会実現のための科学技術イノベーションを創出する博士人材を育成することを目的とします。

2. フェローシップ支給の概要

- ・ 本フェローシップは、フェローシップ学生（フェローシップの給付を受ける学生をいう。以下同じ。）に対し、研究専念支援金および研究費を支給します。
- ・ 研究専念支援金については月額 15 万円（年間 180 万円）を支給し、研究費については実費に基づき最大で年額 30 万円の範囲（秋採用の場合、初年度は半額の 15 万円）で支給します。
- ・ フェローシップの支給期間は、本学の博士後期課程に入学し、又は進学した月（9月入学者又は進学者にあっては10月）から、最長で3年間とします。但し、2020年9月および2023年9月入学者は、最長で2年6ヶ月間となります。
- ・ 研究専念支援金は、原則として支給定日（毎月 21 日（その日が休業日にあたるときは、その日の前日以前で直近の休業日でない日））に、その月の月額を学生が指定する口座に振り込むことにより支給します。
- ・ 支給定日にその月の研究専念支援金を支給することができない事情があるときは、その日後の支給定日に支給します。
- ・ 支給開始初年度については、選考時期が支給期間にまたがってしまった場合、数か月分を一括支給する場合があります。
- ・ 研究費の支給及び管理等については、別途説明します。
- ・ 授業料が全額免除となります。

3. フェローシップ学生の義務

フェローシップ学生は、次に掲げる項目を実施することが求められています。

- ・ 研究計画を踏まえた研究活動に専念すること
- ・ 次章「4. フェローシップの学修プログラム」にある項目を実施すること
- ・ 各項目の履行状況について、別に定める業績報告書（様式1「高度人材育成博士フェローシップ学修プログラム等報告書」）を、原則として年2回、定める期日までに提出すること（8月末日および2月末日）
- ・ 独立行政法人日本学術振興会特別研究員（DC2）に応募すること（最も近い時期の DC2 募集で応募して下さい。）

4. フェローシップの学修プログラム

本フェローシップの学修プログラムを以下に説明します。これらのプログラムは皆さんが博士後期課程において取り組まれるそれぞれの研究や自分に合った将来のキャリアパスを見つけるために役立つ項目です。皆さんの積極的な取り組みを期待します。

4.1. 研究力向上に向けた取り組み

4.1.1. コンソーシアムを通じた研究力向上

大学と企業・学術研究機関等の中で形成されたコンソーシアムが実施する共同研究プロジェクトや研究発表会等に参加することで、研究力向上のための実践的トレーニングを行います。

4.1.2. 教育プログラム

「データサイエンス・AI特別専門学修プログラム」を履修することで、社会的課題解決に向けた高度CP2人材としての研究力を向上させます。

4.1.3. メンター制度

指導教員と異なる研究室の教員がアカデミック・アドバイザーとなり、メンターとしてアドバイスを受けることにより研究力を向上させます。また、基礎研究機構の広域基礎研究塾に所属する若手助教との懇談会に参加することで、研究力向上に向けた基礎的トレーニングを行います。

4.1.4. 英語論文作成やプレゼンテーション等のワークショップ

「アカデミックライティング科目」と「アカデミックプレゼンテーション科目」を履修することで、英語で構成の整った研究論文を書くための手法および研究発表するための手法を身につけます。

4.2. キャリアパス形成のための項目

4.2.1. コンソーシアムを通じたキャリアパス支援

企業や学術研究機関と大学間で形成されたコンソーシアムに参加することで、多様なキャリアパスについて考えます。蔵前工業会によって実施される「Dr's K-meet」（博士後期課程学生の採用を希望する企業と博士後期課程学生のわが国最大のマッチングイベント）や企業や学生の要望に沿った個別のマッチングを活用します。

4.2.2. 研究インターンシップ

企業や学術研究機関等との連携の中で業務経験型の「研究インターンシップ」に参加します。これによってインターンシップから共同研究へのスムーズな展開が可能になり、大学から企業や学術研究機関等へのシームレスなキャリア展開が可能となります。

4.2.3. キャリア教育

イノベーション人材養成機構の開講するキャリア科目において、博士後期課程学生に対する体系的なキャリア教育を履修します。また博士向けアントレプレナーシップ育成教育により、ベンチャー創出などの可能性について考えます。

4.3. 研究室紹介

博士課程への進学意欲が持てるように修士課程以下の学生に対し博士課程における研究活動の魅力を伝えるための情報発信を行います。

4.4. 学院毎のプログラム詳細

次ページ以降で学院毎のプログラムの詳細を記します。

4.4.1. 報告書様式

本ガイドで参照している各報告書の様式は添付ファイルとして提供しています。

（様式1）「高度人材育成博士フェローシップ学修プログラム等報告書」（“様式1_学修プログラム等報告書.xlsx”）

（様式2）「セミナー、研究会、プログラム等の報告書」（“様式2_セミナー、研究会、プログラム等の報告書.xlsx”）

（様式3）「主及び副AAとの面談報告書」（“様式3_主及び副AAとの面談報告書.xlsx”）

4.4.2. 理学院

項目名	実施方法
研究力向上	
コンソーシアムを通じた研究力向上	<p>研究所や他大学との共同研究プロジェクトや研究発表会に参加</p> <p>[達成要件]博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]報告書（様式2）を作成</p>
教育プログラム	<p><全学院共通></p> <p>「データサイエンス・AI特別専門学修プログラム」を履修</p> <p>[達成要件]データサイエンス・AI特別専門学修プログラムの修了要件に沿って科目を履修</p> <p>[実績確認]履修科目名を報告書（様式1）に記入</p>
メンターによる共同指導	<p><全学院共通></p> <ul style="list-style-type: none"> 主および副アカデミック・アドバイザー教員との面談を定期的実施 <p>[達成要件]年に2回以上</p> <p>[実績確認]面談報告書（様式3）を作成あるいはポートフォリオシステム活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎研究機構の若手助教との懇談会に参加 <p>[達成要件]博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]報告書（様式2）を作成</p>
英語プレゼンテーション教育	<ul style="list-style-type: none"> 英語プレゼンテーション・ライティング関係の科目を履修 全学院共通あるいはコースごとの科目リストの中から選択 英語での研究発表会・国際会議で発表。 <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]科目履修の場合は科目名を報告書（様式1）に記入、研究発表の場合は報告書（様式2）を作成</p>
キャリアパス形成	
コンソーシアムを通じたキャリアパス形成	<p><全学院共通>Dr's K-meetに参加</p> <p><学院毎>学院が指定するキャリアフォーラム等に参加</p> <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]報告書（様式2）を作成</p>
研究インターンシップ	<ul style="list-style-type: none"> 学術研究機関や海外の機関への派遣を実施 インターンシップ科目を履修 個別のインターンシップマッチング（C-ENGINEやジョブ型研究インターンシップ）に参加 <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]科目履修の場合は科目名を報告書（様式1）に記入、派遣の場合は報告書（様式2）を作成</p>
キャリア教育	<p><全学院共通></p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア科目を履修

	<ul style="list-style-type: none"> 「実践AIデータサイエンスA～C」を履修 <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]科目名を報告書（様式1）に記入</p>
その他	
博士課程の魅力発信	<p>研究室や系・コースで開催の博士研究会のようなものに参加</p> <p>[達成要件]年に1回以上</p> <p>[実績確認]報告書（様式2）を作成</p>

4.4.3. 工学院

項目名	実施方法
研究力向上	
コンソーシアムを通じた研究力向上	<p>以下のいずれかの研究会またはセミナーなどに参加する</p> <ul style="list-style-type: none"> 卓越教育院^(*)のコンソーシアムが提供するプロジェクトや研究会 例：超スマート社会卓越教育院のマッチングワークショップ 大学と企業・学術研究機関等の中で形成したコンソーシアムの中で実施される共同研究プロジェクトや研究発表会のうち、博士後期課程学生の研究力向上に資するものとして系が認めるもの。事前に、指導教員を窓口として系において適否を確認すること（複合系コースで実施するものを含む）。 工学院が主催・共催・後援するコンテスト・ワークショップなどのうち、博士後期課程学生の研究力向上に資するものとして工学院が認めるもの。 例：工学院サステナビリティチャレンジコンテスト <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上 [実績確認]報告書（様式2）を作成</p> <p>^(*) 参加可能なイベントについては別途フェロシップ事務局から案内します</p>
教育プログラム	<p><全学院共通> 「データサイエンス・AI特別専門学修プログラム」を履修</p> <p>[達成要件]データサイエンス・AI特別専門学修プログラムの修了要件に沿って科目を履修</p> <p>[実績確認]履修科目名を報告書（様式1）に記入</p>
メンターによる共同指導	<p><全学院共通></p> <ul style="list-style-type: none"> 主および副アカデミック・アドバイザー教員との面談を定期的実施 [達成要件]年に2回以上 [実績確認]面談報告書（様式3）を作成あるいはポートフォリオシステム活用 基礎研究機構の若手助教との懇談会に参加 [達成要件]博士在学中に1回以上 [実績確認]報告書（様式2）を作成
英語プレゼンテーション教育	<p>（コースによって一部変更の可能性あり）</p> <p>英語プレゼンテーション・ライティング関係の科目を履修 全学院共通あるいはコースごとの科目リストの中から選択（コースによっては新規クラス創設）</p> <p>[達成要件]博士在学中に1回以上 [実績確認]科目名を報告書（様式1）に記入</p>
キャリアパス形成	
コンソーシア	<全学院共通>Dr's K-meetに参加

ムを通じたキャリアパス形成	<p><学院毎>各系またはコースが指定するキャリアフォーラム等に参加</p> <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]報告書（様式2）を作成</p>
研究インターンシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターンシップ科目を履修。 ・ その他、単位には認定されないが各系において「業務経験型の研究インターンシップ」として認めたものでも可。 ・ あるいは個別のインターシップマッチング（C-ENGINEやジョブ型研究インターンシップ）に参加する。 <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]科目履修の場合は科目名を報告書（様式1）に記入、それ以外の場合は報告書（様式2）を作成</p>
キャリア教育	<p><全学院共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア科目を履修 ・ 「実践AIデータサイエンスA～C」を履修 <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]科目名を報告書（様式1）に記入</p>
その他	
博士課程の魅力発信	<p>系・コースで開催の博士課程進学セミナー等に参加、研究室で実施するものでも可。</p> <p>[達成要件]年に1回以上</p> <p>[実績確認]報告書（様式2）を作成</p>

4.4.4. 物質理工学院

項目名	実施方法
研究力向上	
コンソーシアムを通じた研究力向上	<p>以下のいずれかの研究会またはセミナーなどに参加する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卓越教育院^(*)のコンソーシアムが提供するプロジェクトや研究会 ・ 大学と企業との間で構築した協働研究拠点等の取組 ・ 学協会が主催する人材育成プログラムにおいて開催される産学交流促進のための発表会等（例：日本化学工業協会・化学人材育成プログラム） <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上 [実績確認]報告書（様式2）を作成 ^(*) 参加可能なイベントについては別途フェローシップ事務局から案内します</p>
教育プログラム	<p><全学院共通> 「データサイエンス・AI特別専門学修プログラム」を履修</p> <p>[達成要件]データサイエンス・AI特別専門学修プログラムの修了要件に沿って科目を履修 [実績確認]履修科目名を報告書（様式1）に記入</p>
メンターによる共同指導	<p><全学院共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主および副アカデミック・アドバイザー教員との面談を定期的実施 [達成要件]年に2回以上 [実績確認]面談報告書（様式3）を作成あるいはポートフォリオシステム活用 ・ 基礎研究機構の若手助教との懇談会に参加 [達成要件]博士在学中に1回以上 [実績確認]報告書（様式2）を作成
英語プレゼンテーション教育	<p>英語プレゼンテーション・ライティング関係の科目を履修 全学院共通あるいはコースごとの科目リストの中から選択</p> <p>[達成要件]博士在学中に1回以上 [実績確認]科目名を報告書（様式1）に記入</p>
キャリアパス形成	
コンソーシアムを通じたキャリアパス形成	<p><全学院共通>Dr's K-meetに参加 <学院毎>各系またはコースが指定するキャリアフォーラム等に参加 例：日本化学工業協会・化学人材育成プログラム等の学協会が主催する人材育成プログラムにおいて開催されるキャリアイベント</p> <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上 [実績確認]報告書（様式2）を作成</p>
研究インターンシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターンシップ科目を履修。 ・ あるいは個別のインターンシップマッチング（C-ENGINEやジョブ型研究インターンシップ）に参加。 <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上</p>

	[実績確認]科目名を報告書（様式1）に記入
キャリア教育	<p><全学院共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア科目を履修 ・ 「実践AIデータサイエンスA～C」を履修 <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]科目名を報告書（様式1）に記入</p>
その他	
博士課程の魅力発信	<p>系、コース、研究室で開催の博士課程の研究発表会に参加（公開で行われる中間発表会でも可）</p> <p>[達成要件]年に1回以上</p> <p>[実績確認]報告書（様式2）を作成</p>

4.4.5. 情報理工学院

項目名	実施方法
研究力向上	
コンソーシアムを通じた研究力向上	<p>高度情報理工学人材育成事業や卓越教育院(*)におけるコンソーシアムが提供する研究会やプロジェクトに参加</p> <p>[達成要件]博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]報告書(様式2)を作成</p> <p>(*) 参加可能なイベントについては別途フェロースhip事務局から案内します</p>
教育プログラム	<p><全学院共通></p> <p>「データサイエンス・AI特別専門学修プログラム」を履修</p> <p>[達成要件]データサイエンス・AI特別専門学修プログラムの修了要件に沿って科目を履修</p> <p>[実績確認]履修科目名を報告書(様式1)に記入</p>
メンターによる共同指導	<p><全学院共通></p> <ul style="list-style-type: none"> 主および副アカデミック・アドバイザー教員との面談を定期的実施 <p>[達成要件]年に2回以上</p> <p>[実績確認]面談報告書(様式3)を作成あるいはポートフォリオシステム活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎研究機構の若手助教との懇談会に参加 <p>[達成要件]博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]報告書(様式2)を作成</p>
英語プレゼンテーション教育	<p>英語プレゼンテーション・ライティング関係の科目を履修</p> <p>全学院共通あるいはコースごとの科目リストの中から選択</p> <p>[達成要件]博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]科目名を報告書(様式1)に記入</p>
キャリアパス形成	
コンソーシアムを通じたキャリアパス形成	<p><全学院共通>Dr's K-meetに参加</p> <p><学院毎>学院が指定するキャリアフォーラム等に参加</p> <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]報告書(様式2)を作成</p>
研究インターンシップ	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップ科目を履修 あるいは個別のインターンシップマッチング(C-ENGINEやジョブ型研究インターンシップ)に参加 <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]科目名を報告書(様式1)に記入</p>
キャリア教育	<p><全学院共通></p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア科目を履修 「実践AIデータサイエンスA～C」を履修 <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上</p>

	[実績確認]科目名を報告書（様式1）に記入
その他	
博士課程の魅力発信	研究室や系・コースで開催の博士研究会のようなものに参加 [達成要件]年に1回以上 [実績確認]報告書（様式2）を作成

4.4.6. 生命理工学院

項目名	実施方法
研究力向上	
コンソーシアムを通じた研究力向上	<p>生命理工学院が主催する生命国際シンポジウムに参加</p> <p>[達成要件]博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]報告書（様式2）を作成</p>
教育プログラム	<p><全学院共通></p> <p>「データサイエンス・AI特別専門学修プログラム」を履修</p> <p>[達成要件]データサイエンス・AI特別専門学修プログラムの修了要件に沿って科目を履修</p> <p>[実績確認]履修科目名を報告書（様式1）に記入</p>
メンターによる共同指導	<p><全学院共通></p> <ul style="list-style-type: none"> 主および副アカデミック・アドバイザー教員との面談を定期的実施 <p>[達成要件]年に2回以上</p> <p>[実績確認]面談報告書（様式3）を作成あるいはポートフォリオシステム活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎研究機構の若手助教との懇談会に参加 <p>[達成要件]博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]報告書（様式2）を作成</p>
英語プレゼンテーション教育	<ul style="list-style-type: none"> 英語プレゼンテーション・ライティング関係の科目を履修 <p>全学院共通あるいはコースごとの科目リストの中から選択</p> <ul style="list-style-type: none"> 科目がない場合、英語での中間発表で代用 <p>[達成要件]博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]科目履修の場合は科目名を報告書（様式1）に記入、研究発表の場合は報告書（様式2）を作成</p>
キャリアパス形成	
コンソーシアムを通じたキャリアパス形成	<p><全学院共通>Dr's K-meetに参加</p> <p><学院毎>学院が指定するキャリアフォーラム等に参加</p> <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]報告書（様式2）を作成</p>
研究インターンシップ	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップ科目を履修 あるいは学術研究機関等への派遣や個別のインターンシップマッチング（C-ENGINEやジョブ型研究インターンシップ）に参加。 <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]科目履修の場合は科目名を報告書（様式1）に記入、派遣の場合は報告書（様式2）を作成</p>
キャリア教育	<p><全学院共通></p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア科目を履修 「実践AIデータサイエンスA～C」を履修

	[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上 [実績確認]科目名を報告書（様式1）に記入
その他	
博士課程の魅力発信	研究室や系・コース，すずかけサイエンスデイなどで開催している博士研究会や修士課程など学生向け研究紹介のようなものに参加 [達成要件]年に1回以上 [実績確認]報告書（様式2）を作成

4.4.7. 環境・社会理工学院

項目名	実施方法
研究力向上	
コンソーシアムを通じた研究力向上	以下のいずれかの研究会またはセミナーなどに参加する <ul style="list-style-type: none"> ・ 卓越教育院(*)のコンソーシアムが提供するプロジェクトや研究会 ・ 大学と企業との間で構築した協働研究拠点等の取組 ・ 学協会が主催する人材育成プログラムにおいて開催される産学交流促進のための発表会等 ・ 環境・社会理工学院が主催・共催・後援するコンテスト・ワークショップなどのうち、博士後期課程学生の研究力向上に資するものとして本学院が認めるもの。 [達成要件] 博士在学中に1回以上 [実績確認] 報告書(様式2)を作成 (*) 参加可能なイベントについては別途フェロースhip事務局から案内します
教育プログラム	<全学院共通> 「データサイエンス・AI特別専門学修プログラム」を履修 [達成要件] データサイエンス・AI特別専門学修プログラムの修了要件に沿って科目を履修 [実績確認] 履修科目名を報告書(様式1)に記入
メンターによる共同指導	<全学院共通> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主および副アカデミック・アドバイザー教員との面談を定期的実施 [達成要件] 年に2回以上 [実績確認] 面談報告書(様式3)を作成あるいはポートフォリオシステム活用 ・ 基礎研究機構の若手助教との懇談会に参加 [達成要件] 博士在学中に1回以上 [実績確認] 報告書(様式2)を作成
英語プレゼンテーション教育	・ 英語プレゼンテーション・ライティング関係の科目を履修 全学院共通あるいはコースごとの科目リストの中から選択 ・ 科目がない場合、英語での中間発表で代用 [達成要件] 博士在学中に1回以上 [実績確認] 科目履修の場合は科目名を報告書(様式1)に記入、研究発表の場合は報告書(様式2)を作成
キャリアパス形成	
コンソーシアム形成によるキャリアパス支援	<全学院共通> Dr's K-meetに参加 <学院毎> 学院が指定するキャリアフォーラム等に参加 [達成要件] 上記いずれかを博士在学中に1回以上 [実績確認] 報告書(様式2)を作成
研究インター	・ インターンシップ科目を履修

ンシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 科目が無い場合、あるいは科目履修条件と整合しない場合、系あるいはコースの承認するインターンシップ活動を行う。 ・ あるいは個別のインターンシップマッチング（C-ENGINEやジョブ型研究インターンシップ）に参加する <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]科目履修の場合は科目名を報告書（様式1）に記入、それ以外の場合は報告書（様式2）を作成</p>
キャリア教育	<p><全学院共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア科目を履修 ・ 「実践AIデータサイエンスA～C」を履修 <p>[達成要件]上記いずれかを博士在学中に1回以上</p> <p>[実績確認]科目名を報告書（様式1）に記入</p>
その他	
博士課程の魅力発信	<p>研究室や系・コースで開催の博士研究会のようなものに参加</p> <p>[達成要件]年に1回以上</p> <p>[実績確認]報告書（様式2）を作成</p>

4.4.8. フェローシップ受給期間が3年に満たない場合の達成要件

本フェローシップでは、フェローシップ学生がDC2や他の奨学金プログラム採択等により3年を満たさず途中でフェローシップの受給を終了する場合、また、それに伴い別の学生が途中で追加採用される場合など、フェローシップの受給期間が3年に満たない場合が考えられます。前節で記した学修プログラムの達成要件は3年間受給する学生を前提としていますので、ここでは受給期間が3年に満たない場合の学修プログラムの達成要件について大体的目安を記します。なお、ここに示したものはあくまでも目安ですので、「CPS²の概念に基づいて、スマート社会実現のための科学技術イノベーションを創出する」という本フェローシップの目的達成のためにここに書かれている目安に拘ることなくより早いペースで実施することを妨げるものではありません。（確定申告については次章で説明）

フェローシップ在籍期間 実施項目	6ヶ月	1年	1年6ヶ月	2年	2年6ヶ月	3年
【研究力向上1】コンソーシアムを通じた研究力向上 【研究力向上4】英語プレゼンテーション教育	どちらか1項目			2項目とも		
【研究力向上2】教育プログラム	1科目	3科目	4科目	5科目	7科目	8科目
【研究力向上3】メンターによる共同指導体制（AAとの面談）	半年に1回	半年に1回	半年に1回	半年に1回	半年に1回	半年に1回
【キャリアパス形成1】コンソーシアム形成によるキャリアパス支援 【キャリアパス形成2】研究インターンシップ 【キャリアパス形成3】キャリア教育	うち1項目			うち2項目		3項目
【その他1】博士課程の魅力発信	年に1回以上		年に1回以上		年に1回以上	
【その他2】確定申告	年に1回		年に1回		年に1回	
学修プログラム等報告書の提出	半年に1回	半年に1回	半年に1回	半年に1回	半年に1回	半年に1回

5. フェローシップ研究専念支援金の税処理

フェローシップの研究専念支援金（年間180万円）は税法上雑所得として扱われることにご注意下さい。したがって、あなたが扶養義務者（親など）による扶養扱いになっている場合は、その扶養から外れる必要があります。また、年度末に確定申告を行う必要があります。

6. フェローシップ研究費の支給および管理

フェローシップ研究費（最大で年額30万円）は研究室に配分され、予算詳細責任者は各指導教員になりますので、以下について指導教員と十分に確認をして下さい。

- ・ 予算執行補助者の登録をお願いします。学生は登録できませんので研究室の秘書業務の担当者、経理業務室など検討してお決め下さい。
- ・ 検査等に備え、予算名称は「研究経費 研-★フェロー〇〇」（〇〇は学生の氏名）などで統一して下さい。
- ・ 研究費使用に関する留意点を下記に記します。
 - 学内予算でも、残額が生じた場合は返還の対象となる（2/3相当）ため、計画的な執行に努めて下さい。
 - 他の経費（特に使途の制限のないもの）と合算して執行することは可能です。
 - 研究費により購入した物品等については、事業終了後も引き続き本事業に供するものとしてご使用いただくことになるため、個人的に利用することはできません。
 - 旅費として執行する際は、赤字執行とならないよう、計画的に執行して下さい。

7. 適正な研究活動に関する教育の受講および誓約書の提出

フェローシップ学生として、正しい倫理観に基づいた責任ある研究活動を行うために遵守しなければならない規則、理解しておかなければならない事項があります。それらを学ぶために以下の二つの教育を受講して下さい。具体的な受講方法は別途ご案内いたします。

- ・ 研究倫理教育（e-APRIN）
- ・ コンプライアンス教育（公正な研究活動のための研修会）

また、研究費の使用については本学の「教育研究資金の適正な運営・管理に関する規則」の第19条第1項に「大学の諸規則や教育研究資金の趣旨・取扱いを正しく理解するとともに、教育研究資金の適正な使用に努めなければならない。」と定められています。さらに、同第2項ではこのことを履行する誓約書の提出が求められておりますので、フェローシップ学生として研究費を使用するにあたってはこの誓約書の提出をお願いします。誓約書の様式については別途ご案内いたします。

研究専念支援金および研究費を受給するためには、これらの教育の受講および誓約書の提出は必須ですので、必ず実施するようにして下さい。

8. 論文謝辞

本事業のフェローシップ支給をうけて達成した研究成果を発表する場合には、本事業に助成を受けたことを表示してください。たとえば、論文のAcknowledgement（謝辞）に、

“JST, the establishment of university fellowships towards the creation of science technology innovation, Grant Number JPMJFS2112”を含めてください。記載例は以下のとおりです。

【英文】：This work was supported by JST, the establishment of university fellowships towards the creation of science technology innovation, Grant Number JPMJFS2112.

【和文】：本研究はJST 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業JPMJFS2112の支援を受けたものです。

9. フェローシップの給付の停止

正当な理由なく、「フェローシップ学生の義務」に定める業績報告書（様式1）を提出しなかった場合には、当該期日の属する月の翌月以降のフェローシップの給付を停止することになるので注意して下さい。フェローシップの給付を停止されたフェローシップ学生が、業績報告書を提出した場合には、提出日の属する月の翌月から、フェローシップの給付が再開されます。

10. フェローシップの認定取消

フェローシップ学生が、次のいずれかに該当する場合は、学長は、教育本部の意見を求め、フェローシップ学生の認定を取り消すこととなります。

- ・ 以下のいずれかに該当することとなった場合
 - ▶ 他の奨学金等を受給している者であって、当該奨学金等の制度が、他の奨学金の受給を制限している場合（日本学術振興会特別研究員、国費外国人留学生又は外国政府派遣留学生奨学金等）
 - ▶ 学校基本調査における社会人に該当する者
 - ▶ 東京工業大学基金奨学金又は東京工業大学つばめ博士学生奨学金の給付を受けている者
- ・ 「フェローシップの義務」をやむを得ない事情がなく履行しなかった場合
- ・ 休学した場合（但し、休学が、出産、育児又は傷病等の理由によるものであって、委員会が認めるときは、同項の規定にかかわらず、フェローシップ学生の認定を取り消さず、当該休学の期間中フェローシップの支給を一時停止し、復学したときに支給を再開することができるものとする。）
- ・ 標準修業年限を超過した場合
- ・ 本人から辞退の申出があった場合
- ・ 退学若しくは転学し、又は除籍になった場合
- ・ 懲戒処分を受けた場合
- ・ その他フェローシップ学生として適当でない事実があった場合

11. フェローシップの返還

偽りその他不正な手段等によりフェローシップの給付を受けたフェローシップ学生（前節によりフェローシップ学生の認定を取り消された者を含む。）に、学長は、別に定めるところにより、教育本部会議の議を経て既に給付したフェローシップの全部又は一部の返還を求めることができます。

改訂履歴

- ・ 2021年9月：「4.4.8 フェローシップ受給期間が3年に満たない場合の達成要件」追加

- ・ 2021年11月：「7 研究活動に関する教育の受講および誓約書の提出」追加など
- ・ 2022年8月：「2 フェロシップ支給の概要」に授業料全額免除を追加など
- ・ 2023年6月：イベントカレンダーを追加

問い合わせ先

何かご質問がある場合には、こちらまで連絡して下さい

東工大高度人材育成博士フェロシップ事務（織田，川井）

➤ メールアドレス(cps2.f.app@jim.titech.ac.jp)

付録. イベントカレンダー

	共通	学院向け
4月		
5月	[その他1] すずかけサイエンスデイ	
6月	[研究力向上1] SSSマッチングワークショップ (SSS卓越) [その他3] 日本学術振興会特別研究員 (DC2) 応募	
7月		
8月	[研究力向上3] 主AAおよび副AAとの面談 学修プログラム報告書提出および面談報告書提出	
9月	[研究力向上1] SSS推進フォーラム (SSS卓越)	[研究力向上1] (工学院) サステナビリティ・チャレンジ (9月～11月)
10月		[研究力向上1] (物質理工学院) 化学人材交流フォーラム (9月～10月頃)
11月	[研究力向上1] SSSマッチングワークショップ (SSS卓越)	
12月	[キャリアパス形成1] Dr's k-meet [研究力向上1] 「物質×情報×新産業」フロンティアフォーラム (物質・情報卓越)	
1月		[研究力向上1] (生命理工学院) 生命理工国際シンポジウム
2月	[研究力向上3] 主AAおよび副AAとの面談 [研究力向上3] 基礎研究機構 成果報告会 [その他2] 確定申告 (2月中旬～3月中旬) 学修プログラム報告書提出および面談報告書提出	
3月	[研究力向上1] SSS推進フォーラム (SSS卓越)	
不定期	[研究力向上1] InfoSyEnergy研究ワークショップ (InfoSyEnergy研究/教育コンソーシアム主催)	